

論文番号 76

担当

国税庁 醸造研究所

題名 (原題/訳)

飲酒形態と呼気中のアルコール濃度に関する研究

執筆者

武田奈帆子、白瀧昌彦、秦洋二、市川英治、川戸章嗣、杉並孝二

掲載誌 (番号又は発行年月日)

醸協 92 (9) 677, 1997 要旨のみ記載

キーワード

アルコールモニター 呼気アルコール濃度

要旨

酔いの程度を表す血中アルコール濃度は、呼気アルコール濃度から推定されるため、この濃度を簡便に測定できる装置¹⁾を用いて飲酒形態と酔いの程度について検討した。

その結果、呼気アルコール濃度の増減経過は、パネル間で差がみられたが同一パネルについては再現性の高い経過を示したこと、飲食との関係は満腹時では空腹時に比べて呼気アルコール濃度が減少する傾向が認められた。また、食べる食品の種類や飲酒時の外部環境によっても呼気中のアルコール濃度の増減パターンに変化がみられた。

1) 装置についての説明は「Jpn.J.Alcohol and Drug Dependence,30(3)121-131(1995):アルコールモニター (Alcomed 3010) を使用した呼気アルコール測定への応用」に示してある。